

(件名) 高病原性鳥インフルエンザの原因ウイルスが渡り鳥など自然由来であるなら、裏庭養鶏場で感染事例が出ずに、大規模養鶏場だけで感染事例が出るのは大変不自然であることを鹿児島県のサイトや県の広報誌に記載することを求める陳情

(陳情の趣旨)

2001年9月11日に発生したアメリカ同時テロについてはアメリカ政府の犯行であるという指摘が多く識者からされている。そういった指摘の中でも特に信頼性が高いとされる書籍の一つに「9・11の矛盾」デヴィット・レイ・グリフィン著がある。

これ等の書籍によると、このテロがイスラム過激派によって行われたという具体的に検証に耐える証拠は皆無であるように見える。つまり、アメリカ政府やイギリス政府はイスラム過激派が犯人だと断言はしているが、その証拠は公開されていないのだ。

そして、翌年である2002年から2003年にかけて中国でサーズの流行が起こり、続けて2009年には新型インフルエンザが世界的に流行、世界で2000人以上の死者を出した。更に2012年にはマーズ(中東呼吸器症候群)が主にサウジアラビアで流行した。そして、2019年には主に中国でサーズが流行し、それを受けて新型コロナワクチンが開発され、多くの国で人口の8割程度が複数回の接種を受ける事態になっている。

高病原性鳥インフルエンザでも同じ。2004年1月に、79年ぶりに日本国内での感染事例が確認され、それ以降、頻発するようになって来ている。

まるで2001年のアメリカ同時テロを境に地球が変化し、感染症がまん延する世界に変わってしまったように見える。

仮に今シーズン、昨シーズンと同じように高病原性鳥インフルエンザの事例が大規模養鶏場だけで起こると、それは日本が世界的な鳥インフルエンザの人間への感染が始まった国ということにつながる可能性が高い。なぜなら、日本での感染は大規模養鶏場だけで確認されているという点で不合理であり、人為的な流行である可能性が否定できないからだ。アメリカでは昨年時点で裏庭養鶏に感染事例が多数出ている。

仮に人への鳥インフルエンザの感染が始まると、苛酷な影響を与えることになる。なぜなら、新型コロナのワクチン接種が人口の過半で行われた結果、大多数の人々の免疫機能が弱体化しているからだ。世界的な感染拡大の震源地が日本であるということになってしまう。

以上の趣旨により、下記のことを陳情する。

記

高病原性鳥インフルエンザの原因ウイルスが渡り鳥など自然由来であるなら、裏庭養鶏場で感染事例が一例も出ずに、大規模養鶏場だけで感染事例が多数出るのは大変不自然であることを鹿児島県のサイトや県の広報誌に記載すること。

以上